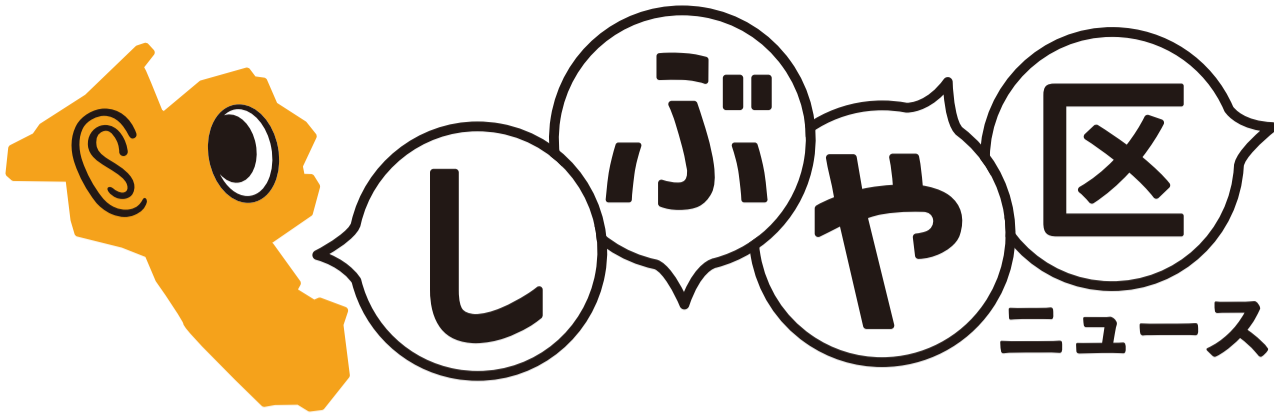


顔が見える。声が聞こえる。人をつなぐ。渋谷区からのお便りです。

令和2年
(2020年) 2月15日

No.1430



発行 | 渋谷区
編集 | 広報コミュニケーション課
所在地 | 〒150-8010 宇田川町1-1
電話 | 03-3463-1211 (代表)
HP | www.city.shibuya.tokyo.jp/
Twitter | @city_shibuya
Facebook | @shibuya.city
Instagram | @city_shibuya_official
LINE | @shibuyacity



東京2020パラリンピックの会場を満員に。 渋谷から広がるパラスポーツの草の根運動。

2	パラスポーツから得られる、	4	新型コロナウイルス感染症の	6	天皇陛下御即位記念2020ジャパンパラ	8	くらしの情報
3	多様な楽しさと気付き。	5	予防についてほか	7	車いすラグビー競技大会を応援しようほか	11	

渋谷区基本構想が掲げる渋谷区の未来像「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」

パラスポーツから得られる、多様な楽しさと気づき。

渋谷のラジオで
出張インタビュー

東京2020パラリンピックを渋谷区から盛り上げようと活動している「パラスポーツを応援する草の根運動の会」の皆さんに、設立の経緯や活動内容について伺いました。



東京2020
パラリンピック以降も
草の根活動を
続けていきます。

パラスポーツを応援する草の根運動の会 代表
たかはし けんじ
高橋 千善さん



リアル観戦も
渋谷運動会も
面白いですよ。
ぜひご参加を。

パラスポーツを応援する草の根運動の会 理事
なかま まさき
中嶋 正樹さん



パラスポーツは
たくさんの気づきを
与えてくれます。

パラスポーツを応援する草の根運動の会 理事
あいかわ りつこ
相川 良子さん



東京2020
パラリンピックと一緒に
盛り上げましょう。

パラスポーツを応援する草の根運動の会 理事
はしがみ かずこ
橋高 薫子さん

パラスポーツへの興味・関心をもっと高めたい。

——パラスポーツを応援する草の根運動の会(通称:バラ草の会)とは、どのような団体なのでしょう？

高橋:「東京2020パラリンピック競技大会の会場を満員に」を合言葉に、渋谷区からパラスポーツを盛り上げようと平成30年から活動している団体です。町会、PTA、ガール・ボーイスカウトなど、区内のさまざまな団体やグループから幅広い年齢層の人たちが参加していて、現在は約850人の会員がいます。

——団体設立の経緯や皆さんが参加されたきっかけを教えてください。

高橋:平成27年に行われた区民意識調査によると、「東京2020大会にどういった形で参加したいですか」という問いに、「オリンピックの各競技大会の観戦」と答えた人の割合は39.5%に対し、パラリンピックの場合はわずか5.7%。東京2020パラリンピックが近付き、パラスポーツへの関心も少しずつ高まってきているとはいえ、競技会場に観客は入るだろうかと不安がありました。私は渋谷区の人権擁護委員として長年パラスポーツを応援してきた立場から、パラリンピックをみんなで応援したいと思い、仲間を集めて、バラ草の会を立ち上げました。

中嶋:私も渋谷区の人権擁護委員であり、東京都人権擁護委員連合会の男女共同参画社会推進委員長を務めています。高齢者・障がい者人権委員会の事務局や心理カウンセラーの立場からも、何かお役に立てることがあるのではと思って参加しました。

相川:私は以前、渋谷区の人権擁護委員を10年以上務め、子どもの人権を担当していました。東京2020パラリンピックは、子どもたちが、人それぞれの生き方を尊重するという人権の考え方に触れる絶好の機会なので、ぜひ応援したいと思いました。

橋高:私は以前からボランティアとして、子どもたちの障がいへの理解を深める授業を学校で行なってきました。パラスポーツの魅力により多くの人たちに伝えたいと思い、一緒に活動させていただいています。

——具体的にはどのような活動を行なっているのですか？

高橋:活動の軸は、解説書付きリアル観戦ツアーです。渋谷区内で行われる車いすラグビー、パラ卓球、パラバドミントンの渋谷区長杯大会やエキシビジョンマッチを会場リアルに観戦することで

ルールや選手を知り、東京2020パラリンピックをより楽しむための企画です。他にも、SNSを使ったパラスポーツの情報提供、パラスポーツを体験できる「渋谷運動会」の開催、ハード・ソフトのバリアフリー化の推進、小中学生の自発的なボランティア育成、募金活動などを行なっています。

——幅広い活動を行なっていますね。皆さんは、パラスポーツのどんな点に魅力を感じていますか？

中嶋:実際に試合を観ると、頭の中で思い描いているパラスポーツのイメージと全然違って、とてもスピーディーでアグレッシブなんです。特に車いすラグビーは迫力満点で、ぶつかった際の衝撃で車いすのタイヤがパンクして、試合中に交換する場面もあります。そうした裏側のドラマを観ることができるのもリアル観戦の面白さですね。パラ卓球もパラバドミントンも会場で観ると緊張感や瞬発力がダイレクトに伝わってきて、こちらも白熱します。初めてリアル観戦ツアーに参加された人からは「他の競技も観てみたくなった」という感想がとても多いです。

橋高:子どもたちも実際に試合を観たり、競技を体験したりすると、みんな「楽しい」「面白い」と夢中になります。また、障がいに応じてチーム編成や点数が変わるというルールから、人にはそれぞれ個性があることや、みんなで協力してよりよい世界をつくっていくということを自然と学んでいます。パラスポーツは障がい理解のとてもいいきっかけになると感じています。

相川:パラスポーツにも、知る、観る、体験する、対戦する、応援するなど、さまざまな楽しみ方があります。中でも子どもたちにとっては、「体験する」がとても大切。体験することではじめて、心に落ちることがあります。そうした体験の機会を増やそうと開催しているのが、「渋谷運動会」なんです。

——「渋谷運動会」とは、どのような大会なのでしょう？

中嶋:大人も子どもも、障がいのある人もない人も、みんなで交ざり合ってパラスポーツを楽しむ、「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」らしい運動会です。昨年行われた第1回大会には約200人が参加し、とても盛り上がりました。今年はパラリンピック競技のボッチャやブラインドフェンシングに加えて、片足缶ぼっくりや車いすなどを織り交ぜた「気づきのリレー」、全身じゃんけんを行

う予定です。パラスポーツは障がい者だけのためのものではなく、みんなで楽しめる新しいスポーツだということを感じてもらえたらうれしいですね。運動会はどなたでも参加できますので、ぜひお気軽にお申し込みください。

高橋:今後は「渋谷運動会」のようなイベントを開催してみたいという学校や団体などを、サポートする活動も行なっていきたいと思っています。区内でパラスポーツに触れる機会がどんどん増えていけばいいですね。

困っている人を手助けできる、思いやりのある街に。

——「渋谷運動会」、とても楽しそうですね。ハード・ソフトのバリアフリー化の推進においては、どのような取り組みを行なっていますか？

高橋:渋谷区が発行している、障がいがある人とのコミュニケーションブック『daijobu book』を使ったワークショップやパラリンピアンとの交流会などを行なっています。観るだけ、聞くだけで終わらせず、自分だったらどうするかをそれぞれが考え、仲間と意見交換を行うことが自律的なボランティアの育成にもつながっていくと考えています。

相川:パラリンピアンとの交流は、子どもたちの心にすごく響いています。中でも、元パラ陸上競技選手・花岡伸和さんの「障がいは不便だけれど不幸ではない。僕はパラスポーツをやっている、とても充実しています」という言葉は、多くの子どもたちに感動を与え、スポーツをする楽しさは障がい者も健常者も同じなんだということを改めて気付かせてくれました。

橋高:相川さんが話したように、知る、観る、体験する、対戦する、応援するの先には、それぞれの「気づき」があるんですね。以前、ある小学生が車いすの人に「僕が手伝ってあげたら、あなたは不便じゃないよね?」と話し掛けていたのを見て、とても温かい気持ちになりました。障がいは「人」ではなく「社会」にあって、それを助けられるのは「自分」であるということに気付いたのだと思います。子どもたちの素直な反応から大人が気付かされることもたくさんありますね。

相川:気付き方も人それぞれで、多様性があります。みんなの「気づき」を共有して、どうすれば社会の中にある課題を解決できるのかを

深掘りしていくことで、ハード・ソフト両面のバリアフリー化が進んでいくと思います。

——パラスポーツの応援を通じて、障がいのある人への理解や支援がより深まっていくといいですね。最後に、東京2020パラリンピック以降の展望や区民の皆さんへのメッセージをお願いします。

高橋:東京2020パラリンピックにおいては、できるだけ多くの方が会場に足を運び、またそれ以降もパラスポーツを応援する気持ちを継続してもらえよう、さまざまなイベントを企画して草の根活動を続けていきます。大会期間中は、多くの外国人観光客や障がいのある人が渋谷を訪れると思いますので、区民の皆さんにも、街で困っている人を見つけた時に、自然に手助けできるような思いやりの心を育てていただけたらうれしいです。

中嶋:心のバリアをなくすことは難しいですが、東京2020パラリンピックをきっかけに、一人一人が心のバリアを少しでも「低く」することを意識できたらいいですね。

橋高:東京2020パラリンピックを通じて、世界中の人に「渋谷って素敵だね」と思われるような街にしていけたらと思います。ちがいを認めて尊重し合える、ダイバーシティ&インクルーシブな大会を目指して、みんなでパラスポーツを盛り上げていきましょう。

渋谷運動会に参加しましょう

渋谷運動会はパラスポーツを遊び感覚で楽しむ運動会です。どなたでも参加できます(無料)。

日時 3月8日(日)
11:30~15:00(11:00開場)

会場 都立広尾高等学校 体育館
(東4-14-14)

申込 3月2日までに「参加希望の旨、氏名(全員分)、代表者の連絡先、関係性(友人、親子、会社同僚など。未成年は年齢)を明記」、メール(info@parakusa.com)またはFAX(5458-8003)でバラ草の会へ

氏名・メールアドレスを登録すれば、どなたでもバラ草の会に参加できます(会費無料)。詳しくはバラ草の会HPで。(parakusa.com)



▲令和元年10月「車いすラグビーワールドチャレンジ2019」の様子



▲バラ草の会の活動の参加者から集めた、パラスポーツの応援メッセージ

渋谷区の人権擁護委員のインタビューは2月18・25日に「渋谷の星」で放送します。

問広報コミュニケーション課広報係 ☎3463-1287 📠5458-4920

渋谷区の番組を放送中です

ラジオ しぶや区ニュース (10分間) 月~木 11:00/16:00/21:50 「しぶや区ニュース」の情報を発信します。	渋谷の星 (45分間) 火 11:10 渋谷区で活躍する人たちが登場します。	渋谷のくらし (30分間) 火 16:20 地域の催しなどの様子を伝えます。	ラジオ しぶや区ニュース(区長の部屋ほか) (10分間) 金 11:00/17:00/19:50 長谷部区長が出演します(ラジオしぶや区ニュースの内部になる場合あり)。
---	---	---	---

渋谷区 × 渋谷とは?

「しぶや区ニュース」では毎月、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面を届けています。

渋谷 × 渋谷 周波数:
87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能

所在地 | 渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876
FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | shiburadi.com/

Available on the App Store | Get it on Google Play